

# 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	静光園管理運営事業		所管課【2】	高齢介護課
			評価者(担当者)	小山晃生
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	⑤いきいきと暮らせる福祉のまちづくり		
	主要施策(節)	(3)社会福祉の充実		
	施策区分 (市民意識調査結果)	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】			
	<input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 老人福祉法・玉名市静光園老人ホーム条例 】			
	<input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的的事业 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業			
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【			款 3 項 1 目 4 細目 1

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	近年、独居高齢者が増加しており、孤独死等の心配がある。この事を踏まえて、養護老人ホームへ措置し安全な生活環境を整備する必要がある。
対象(誰、何に対して) 【9】	近くに身寄りのない独居高齢者、生活困窮者及び弱者、虐待(DV)を受けている高齢者等
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	利用者に安心した生活環境を提供する。

## 《事務事業の概要》

事業期間【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度									
	【 年度】                 【 H17 年度から】                 【 年度～ 年度まで】									
事業主体【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】									
実施方法【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】									
事務事業の具体的内容 【14】	65歳以上の者であって、環境上の理由及び経済的理由(政令で定めるものに限る。)により居宅において養護を受けることが困難なものを入所させ、安心した生活を提供する。 施設の安定した維持管理を行う。									
	事務事業を構成する細事業【15】 <table border="1"> <tr><td>①</td><td>静光園管理運営事業</td></tr> <tr><td>②</td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td></tr> <tr><td>④</td><td></td></tr> <tr><td>⑤</td><td></td></tr> </table>	①	静光園管理運営事業	②		③		④		⑤
①	静光園管理運営事業									
②										
③										
④										
⑤										

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H24年度決算	H25年度決算	H26年度決算	H27年度予算	全体計画
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金				
		県支出金				
		起債				
		受益者負担				
		その他				
		一般財源	60,886	58,965	59,286	70,190
	【16】 小計	60,886	58,965	59,286	70,190	0
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	23,215	22,638	22,546	26,596	
職人 員 の 費	職員人工数	5.58	5.53	5.60	5.60	
	職員の年間平均給与額(千円)	5,610	5,424	5,424	5,424	
	【17】 小計	31,304	29,995	30,374	30,374	
合計		92,190	88,960	89,660	100,564	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画
① 静光園管理運営事業	施設に入所させ、快適な生活環境を提供する	入所可能人数	人	50	50	50	50
②							
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H24目標	H25目標	H26目標	H27目標
			H24実績	H25実績	H26実績	
1 入所者数	1年間の入所者延べ人数		50	50	50	50
			42	41	40	
2						

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	老人福祉法において「経済的理由」及び「環境的理由」により措置する事になっている。養護老人ホームの廃止を行えば、生活困窮者の受入先が無くなり、生活保護等が急増する。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) C	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	近年各自治体で運営する施設の民間委託が行われている傾向にある為、当園においても現在民営化の方向で協議進行中である。民営化が白紙になった場合においても、厨房業務だけでも民間委託を行えば経費削減は可能ではないかと思われる。
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input checked="" type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	現状においても最小限の人員でサービス提供をおこなっており、現状を維持するのが精一杯である。更なるサービス向上のため、現在民営化の方向で協議を重ねている。
昨年からの見直し・改善状況【32】	運営については利用者の安全、安心を第一に考え、最小限の人員で試行錯誤を繰り返し、可能な限り最大の成果を発揮している。民営化については現在高齢介護課にて推進中である。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	運営については、事故等がないよう最善の注意を払っている。また、最近は虐待等による緊急入所者が増えており、ある一定の空き部屋も必要になる。現在、平成28年4月委譲予定で民営化の準備を行っている。	評価責任者 辻 智子
------------------	--	---------------